

## 専門分野

### ○母性看護学

- ・母性看護学概論
- ・母性看護学援助論Ⅰ
- ・母性看護学援助論Ⅱ
- ・母性看護学援助論演習

科目区分	専門分野	教育内容	母性看護学
授業科目	母性看護学概論	単位数(時間)	1単位(15時間)
開講年次	2年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有・無
<p>目的: 母性の健康の保持・増進を目指した看護を実践するための基礎的知識を習得する。</p> <p>目標: 1 母性看護を必要とする対象の特性を理解し、母性看護の課題や役割を理解できる。  2 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状について理解できる。  3 ライフサイクル各期における母性の健康および健康問題と健康の保持増進に向けた看護を理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 母性看護の基盤となる概念 1) 母性とは 2) 母子関係と家族発達 3) 母性看護のあり方 4) 母性看護の基盤となる概念 (1) ヘルスプロモーション (2) ウェルネス (3) セルフケア (4) 女性を中心としたケア (5) プレコンセプションケア	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
2	2 リプロダクティブ・ヘルスに関する概念 1) リプロダクティブヘルス/ライツ 2) 性(セクシュアリティ)と発達 3) セックス、ジェンダー 4) 性の多様性	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
3	3 母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状 1) 母性看護の歴史の変遷 2) 母子保健統計 3) 周産期医療システム 4) 国際化社会と母性看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
4	5 母性看護に関する法律と施策 1) 妊娠期からの切れ目ない支援に関する法と施策 2) 働く妊産婦への支援に関する法や施策 3) 女性の健康支援に関する法や施策	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
5	6 女性のライフステージ各期における対象の特徴と看護 1) 現代女性のライフサイクル 2) 思春期 3) 成熟期 4) 更年期 5) 老年期	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
6	7 リプロダクティブヘルスに関する支援 1) 家族計画 2) 性感染症 3) 不妊症と看護 4) 人工妊娠中絶と看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	

7	5) 喫煙と女性の健康 6) HIVに感染した女性に対する看護 7) 災害時の妊産婦と家族への支援 8) 性暴力を受けた女性に対する看護 9) 児童虐待と看護	準備:テキスト・配付資料を読む。  復習:授業内容の復習をする。
	試験	
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験、レポート	
テキスト	医学書院 母性看護学(1) 母性看護学概論	
参考文献	国民衛生の動向 公衆衛生がみえる	
履修上の留意事項	グループワーク・演習は積極的な姿勢で臨むこと。 提出物は、期日・日時を厳守すること。	
備考		

科目区分	専門分野	教育内容	母性看護学
授業科目	母性看護学援助論 I	単位数(時間)	1単位(20 時間)
開講年次	2年次後期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有・無
<p>目的: 妊娠期及び分娩期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴を理解し、健康の保持・増進を目指した看護の基礎的能力を養う。</p> <p>目標: 1 妊娠期及び分娩期の正常な経過と起こりやすい異常を理解できる。 2 妊娠期及び分娩期の経過に合わせた看護を理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 妊娠期における看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
2	1) 妊娠期の身体的特徴		
3	2) 妊娠期の心理・社会的特性 3) 妊婦と胎児のアセスメント 4) 妊婦と家族の看護		
4	2 妊娠期の異常と看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
5	1) ハイリスク妊娠 2) 妊娠期の感染症が胎児に及ぼす影響 3) 妊娠疾患 4) 多胎妊娠 5) 妊娠持続期間の異常:切迫流早産 6) 子宮外妊娠 7) ハイリスク妊婦の看護 (1) 高年妊婦、若年妊婦の看護 (2) 肥満・過剰体重増加妊婦の看護 (3) 生殖補助医療(ART)後の妊婦の看護 (4) 合併症を有する妊婦の看護 (5) 妊娠高血圧症候群妊婦の看護 (6) 切迫流・早産の妊婦の看護 (7) 多胎妊婦の看護		
6	3 分娩期における看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
7 (3h)	1) 分娩期の身体的特徴 (1) 分娩の要素 (2) 分娩の経過 2) 産婦・胎児、家族のアセスメント (1) 産婦と胎児の健康状態のアセスメント (2) 産婦と家族の心理・社会面のアセスメント 3) 分娩期の看護の実際 (1) 看護目標と産婦のニーズ (2) 安全・安楽な分娩への援助 (3) 出産体験が肯定的になるための看護 (4) 基本的ニーズに関する援助 (5) 家族発達を促す援助		

8	4 分娩期の異常と看護 1) 産道の異常 2) 娩出力の異常 3) 胎児の異常 4) 胎児の付属物の異常 5) 分娩時の異常 6) 異常のある産婦の看護	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。
9	(1)破水が生じた産婦の看護 (2)分娩遷延のリスクのある産婦の看護 (3)胎児機能不全を生じるリスクのある産婦の看護 (4)鉗子分娩・吸引分娩を受ける産婦の看護 (5)帝王切開を受ける産婦の看護 (6)分娩時異常出血のある産婦の看護	
試験(1)		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験、レポート、参加状況・態度等	
テキスト	医学書院 母性看護学(2) 母性看護学各論	
参考文献	メディックメディア 病気がみえる⑩ 医学書院 根拠と事故防止からみた母性看護技術	
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 演習・グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。	
備考		

科目区分	専門分野	教育内容	母性看護学
授業科目	母性看護学援助論Ⅱ	単位数(時間)	1単位(20時間)
開講年次	3年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有・無
<p>目的:産褥期及び新生児期にある対象の身体的・心理的・社会的特徴と健康の保持・増進を目指した看護の基礎的能力を養う。</p> <p>目標:1 産褥期及び新生児期の正常な経過と起こりやすい異常を理解できる。 2 産褥期及び新生児期の経過に合わせた看護を理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1	1 産褥期における看護 1) 産褥期の特徴 2) 褥婦のアセスメント (1) 産褥経過の診断 (2) 褥婦の健康状態	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
2	3) 褥婦と家族の看護 (1) 産褥復古に関する支援 (2) 母乳育児への支援 (3) パースレビュー		
3	(4) 褥婦の日常生活とセルフケアを支える看護 (5) 親子の愛着形成への支援 (6) 育児技術獲得への支援 (7) 家族関係再構築への看護 (8) 退院後の生活調整に向けた看護		
4	2 産褥期の異常と看護 1) 産褥期の異常 (1) 子宮復古不全 (2) 産褥期の発熱 (3) 産褥血栓症 (4) 精神障害	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
5	2) 異常のある褥婦の看護 (1) 感染症を有する褥婦の看護 (2) 乳房トラブルを有する褥婦の看護 (3) 母子分離時の褥婦の看護 (4) 死産、障害をもつ新生児を出産した褥婦・家族の看護 (5) 精神障害合併妊婦と家族の看護		
6	3 新生児期における看護 1) 新生児の生理 (1) 新生児の定義 (2) 新生児の生理的機能 2) 新生児のアセスメント (1) 新生児の診 (2) 新生児の健康状態	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。	
7 (3h)	3) 新生児の看護 (1) 出生直後の看護 (2) 出生後から退院時までの看護 (3) 生後1か月健診に向けた退院時の看護		

8	4 新生児期の異常と看護 1) 新生児の異常 (1) 新生児仮死 (2) 呼吸障害 (3) 低血糖 (4) 分娩外傷 (5) 低出生体重児 (6) 高ビリルビン血症 (7) 新生児ビタミンK欠乏症	準備:テキスト・配付資料を読む。 復習:授業内容の復習をする。
9	2) 異常新生児の看護 (1) 早産児、低出生体重児の看護 (2) 高ビリルビン血症児の看護	
試験		
履修要件	履修規程 授業科目の履修等 第4条のとおり	
評価方法	筆記試験、レポート、参加状況・態度、等	
テキスト	医学書院 母性看護学(2) 母性看護学各論	
参考文献	メディックメディア 病気がみえる⑩ 医学書院 根拠と事故防止からみた母性看護技術	
履修上の留意事項	予習・復習をして授業に臨むこと。 演習・グループワークは積極的な参加姿勢で臨むこと。 提出物は、提出日時を厳守すること。	
備考		

科目区分	専門分野	教育内容	母性看護学
授業科目	母性看護学援助論演習	単位数(時間)	1単位(15時間)
開講年次	3年次前期	卒業認定の方針との関連	2 専門知識と科学的根拠に基づいた判断力と実践力を身につけることができる。
講師名		実務経験の有無	有・無
<p>目的: 周産期の母子とその家族の特性を中心とした看護の特徴を踏まえ、対象を理解と看護を実践するための基礎的知識と技術を習得できる。</p> <p>目標: 1 周産期にある母子の理解と看護に必要な基本的看護技術を習得できる。 2 事例を通じた看護過程の展開により、産褥期にある母子およびその家族の看護を理解できる。</p>			
回数	授業計画	授業準備と復習	
1 (3h)	1 周産期の母子と家族の理解 2 妊娠期にある人の理解と基本的看護技術(演習) 1) 子宮底測定 2) 腹囲測定 3) レオポルド触診法 4) 胎児心音聴取	<p>準備: 既習学習をミニテストで確認するため、母性看護概論、母性看護学援助論Ⅰ・Ⅱを復習しておく。 必ずテキスト及び動画を視聴し、事前課題(演習自己課題)で、基本的な手順を理解した上で演習に参加すること。 復習: ミニテストの振り返りを行う。 演習終了後は、自己の技術の振り返りを行う。</p>	
2	3 分娩期にある人の理解と基本的看護技術 1) 呼吸法 2) 産痛緩和法 4 産褥期にある人の理解と基本的看護技術(演習) 1) 子宮底測定 2) 子宮底輪状マッサージ 3) 乳房・乳頭の観察と授乳支援	<p>準備: 必ずテキスト及び動画を視聴し、事前課題(演習自己課題)で、基本的な手順を理解した上で演習に参加すること。 復習: ミニテストの振り返りを行う。 演習終了後は、自己の技術の振り返りを行う。</p>	
3	5 新生児の理解と基本的看護技術(演習) 1) バイタルサイン測定 2) 身体計測 3) 新生児の抱き方 4) 沐浴・清拭	<p>準備: 必ずテキスト及び動画を視聴し、事前課題(演習自己課題)で、基本的な手順を理解した上で演習に参加すること。 復習: ミニテストの振り返りを行う。 演習終了後は、自己の技術の振り返りを行う。</p>	
4	6 産褥期にある母子と家族への看護展開 1) 看護展開の特徴 ウェルネス看護 2) アセスメント 3) 援助計画	<p>準備: テキストで看護過程の実際とこれまでの講義資料を熟読し、個人課題を行ったうえでグループワークに参加すること。 復習: 看護過程の追加・修正を行う。</p>	
5			
6	4) 援助の実際(演習シミュレーション) 5) 実施 評価 6) まとめ	<p>準備: 看護過程展開事例の全体像をよく理解した上で、援助計画に基づいてシミュレーションに臨む。 復習: 演習終了後は、自己の技術の振り返りを行うこと。看護過程の展開について追加・修正を行う。</p>	
7			
	試験		
履修要件	授業科目の学習の評価等に関する規定 のとおり		

評価方法	筆記試験 演習後レポート
テキスト	医学書院 母性看護学〔1〕 母性看護学概論 医学書院 母性看護学〔2〕 母性看護学各論
参考文献	医学書院 根拠と事故防止からみた母性看護技術 医歯薬出版株式会社 周産期の看護技術 医歯薬出版株式会社 ウェルネスの視点にもとづく母性看護過程
履修上の 留意事項	グループワーク・演習は積極的な姿勢で臨むこと。 提出物は、期日日時を厳守すること。 母性看護学概論、母性看護学援助論の復習をして臨むこと。 技術演習は、事前学習として、援助計画を記載し、臨むこと。
備考	母性看護技術は、根拠に基づき適切かつ安全に実施できるよう各自で練習を重ねる。 母性看護学実習前には、新生児の沐浴の技術チェックを実施する。